

地域計画

策定年月日	令和6年3月29日
更新年月日	令和7年3月26日 (1回目)
目標年度	令和14年度
市町村名 (市町村コード)	近江八幡市 (252042)
地域名 (地域内農業集落名)	津田干拓 (無し)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	55.51 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	55.51 ha
② 田の面積	0 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	55.51 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)遊休農地面積〇〇ha(うち1号遊休農地〇〇ha、2号遊休農地〇〇ha) ⑤は、〇〇市内で引き受ける意向のあるすべての農地面積の合計。	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

津田干拓地区には集落がないため、近隣に限らず遠方の農業者が野菜や果樹を作付ける畑地の広がる干拓地である。耕作者の高齢化による後継者不足並びに営農組合が解散するなど、園芸品目のまとまった取組の減少などの課題を抱えている状況であり、こうした中で、現在果樹団地による、新たに引き受ける面積約9haが集約化が出来る状況である。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・露地野菜を主要作物としつつ、現在集約化をしている果樹栽培を担う者を含めて高品質栽培方法を確立する。
- ・この果樹栽培農業者ならびに地域外から希望する認定農業者や認定新規就農者を受け入れ、さらに農業を担う者を募り、地域全体で津田干拓ブランド作りを進める。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地バンクへの貸付けを進めつつ、担い手(認定農業者)への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	36.1	%	将来の目標とする集積率
			41.15 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手への集約及び団地面積の拡大を進める。(令和14年度)			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に集積・集約化を進め、団地面積の拡大を津田内湖土地改良区及び農地相談員と調整し、農地バンクを通じて進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
地域全体を農地バンクに貸し付け、担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際津田内湖土地改良区及び農地相談員と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3)基盤整備事業への取組
基盤整備事業は平成19年度より、令和3年度から畑地再整備事業(圃場整備事業)により、用水については、地区内全ての畑地へパイプラインで灌漑をしている。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外から、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、市及びJAと連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
無し

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☒ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携	☐ ⑩その他
【選択した上記の取組内容】				
⑤令和4年度から令和6年度の三か年事業として、果樹棚(なし、ぶどう)約9haの設置を進めている。同時に、果樹生産組合を設立する。梨、ぶどうそれぞれに部会を設け、農業経営の合理化、経営の安定、品質向上、出荷体制の確立を図る。				

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

別紙のとおり

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

該当なし

6 目標地図(別添のとおり)

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 14 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
利用者		野菜	0.91 ha	ha	野菜	0.91 ha	ha	おうどいろ	1
認農		野菜	1.72 ha	ha	野菜	1.72 ha	ha	ももいろ	2
認就		果樹	0.97 ha	ha	果樹	0.97 ha	ha	やまぶきいろ	3
認就		野菜	1.48 ha	ha	野菜	1.25 ha	ha	ねずみいろ	4
認就		野菜・果樹	2.21 ha	ha	野菜・果樹	2.7 ha	ha	むらさき	5
利用者		野菜	1.96 ha	ha	野菜	0.98 ha	ha	うすだいたい	6
認農		果樹	0.96 ha	ha	果樹	1.43 ha	ha	みどり	8
利用者		野菜(種子)	26.06 ha	ha	野菜(種子)	26.06 ha	ha	うすみどり	9
認就		果樹	0.49 ha	ha	果樹	0.98 ha	ha	あかだいたい	10
認就		野菜・果樹	0.98 ha	ha	野菜・果樹	1.73 ha	ha	うすねずみ	11
認農		野菜	1.48 ha	ha	野菜	1.48 ha	ha	だいだい	12
認就		果樹	0.98 ha	ha	果樹	0.98 ha	ha	しゅいろ	13
認就		野菜・果樹	3.65 ha	ha	野菜・果樹	3.65 ha	ha	きいろ	14
認農		野菜	0.98 ha	ha	野菜	0.98 ha	ha	ぐんじょういろ	15
認就		果樹	0.98 ha	ha	果樹	0.98 ha	ha	つちいろ	17
認就		野菜・果樹	2.57 ha	ha	野菜・果樹	2.57 ha	ha	こん	18
利用者		果樹	0.49 ha	ha	果樹	0.49 ha	ha	あか	19
認農		野菜	0.25 ha	ha	野菜	0.25 ha	ha	あおみどり	20
利用者		野菜	0.98 ha	ha	野菜	0.98 ha	ha	きみどり	21
利用者		野菜	1.59 ha	ha	野菜	1.59 ha	ha	あお	22
利用者		果樹	0.88 ha	ha	果樹	0.88 ha	ha	ふかみどり	23
利用者		野菜	0.49 ha	ha	野菜	0.49 ha	ha	すみれ	24
認農			ha	ha	野菜	1.46 ha	ha	みずいろ	25
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計			53.06 ha	ha		55.03 ha	ha		